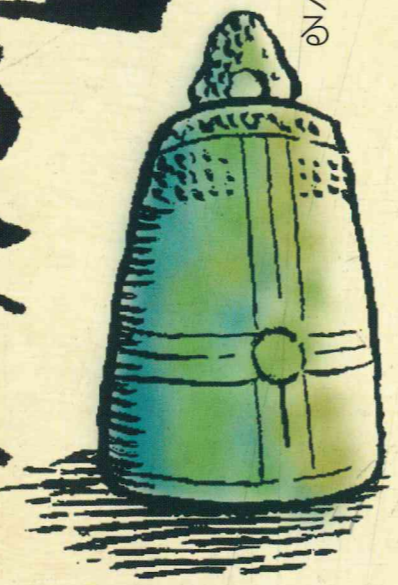


鑄 の は じ

「鑄人(いものびと)」のつくる薪ストーブ、「Lin・輪」ができるまで。

豊かな生活を支える資源の
「輪(リサイクル)」をつくる



株式会社 浅井鑄造所

平成21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発支援事業)

新 の は じ

「鑄人(いものびと)」のつくる薪ストーブ、「Lin・輪」ができるまで。

持続可能な自然の
「輪(サイクル)」をつくる



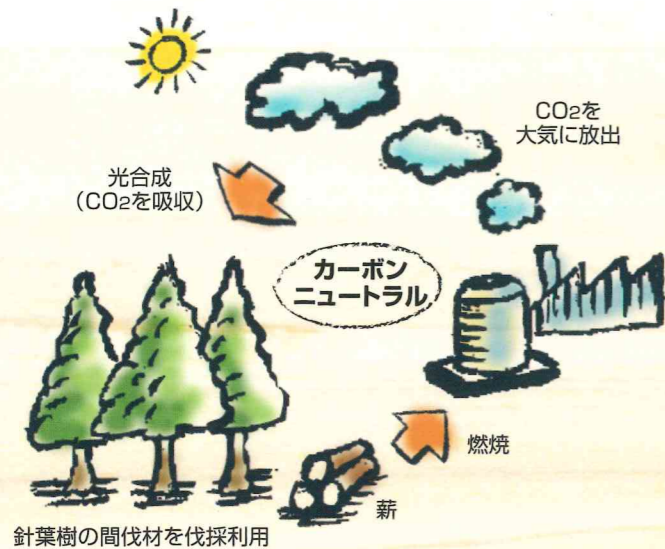
株式会社 浅井鑄造所

平成21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発支援事業)

「薪」を使った、昔ながらの暮らしで、

スイッチを入れれば簡単に暖がとれるストーブよりも、暖をとるまでの行程を楽しみたいと、薪を使う生活をしたい方がひそかに増えてきています。

自然に触れられる昔ながらの暮らしで、あなたも心豊かな生活を取り戻してみませんか？



薪がエコ？

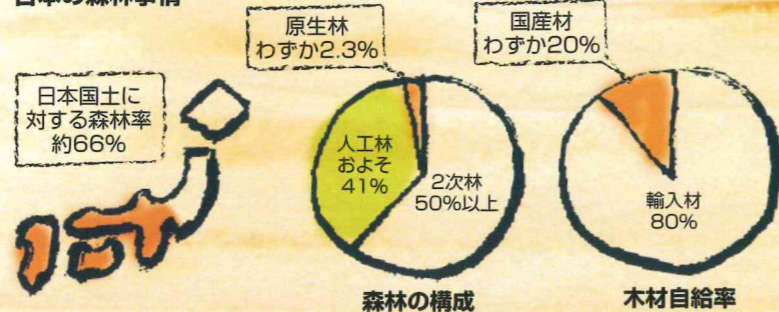
今、地球温暖化問題で、化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）に代わる、二酸化炭素（CO₂）をほとんど出さない「木質バイオマス燃料」が注目されています。木質燃料として「薪」を燃やせばもちろん二酸化炭素は発生しますが、「薪」が出す二酸化炭素は、地球をめぐる炭素循環の中にすっぽり収まっているので、大気中の二酸化炭素濃度を高めることにはならないのです。（これをカーボンニュートラルといいます）木質バイオマスなどの再生可能な資源を基盤とした循環型社会が、エコにつながるのです。

薪になる木なら何でもいいの？

針葉樹の薪を使おう！

日本は戦後、経済開発にあわせて林業地にスギやヒノキをたくさん植え、針葉樹林を増やしてきました。しかし、現在の木材消費のほとんどは輸入材が占めています。放置された森は林床が常に暗くなり、地水力低下や土砂崩れなどの災害が起こりやすくなっています。この現状を変えるには国産材を使い、森を保全するために人為的に間伐を行うことが必要なのです。そうすれば、森の保水力も上がり災害も減ります。

日本の森林事情

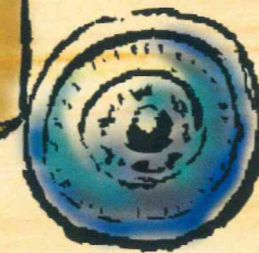


環境への想い、ものづくりへの想い。このふた

心の豊かさを。



鋳物って？



鋳物の歴史は古く、製造は紀元前3500年頃のメソポタミア地方から開始されたといわれ、わが国では、約1300年以前に作られたと伝えられています。鋳物の用途は極めて広範囲にわたっていて、種類や部品点数は数多く、様々な工業製品の主要構成部分に使用されています。鋳物は、昔から受け継がれている伝統的産業であり、日本経済を支えてきた代表的産業なのです。また、リサイクル産業のひとつでもあります。

どんなところで使われているの？

こんなものが
鋳物で
つくられて
います。



自動車、工作機械、電機、造船、精密機械、産業機械、金型、建築資材、家庭用品、遊具、マンホール等

今、鋳物はこんな
ところで活躍
しています。

液晶テレビ等のパネルや半導体の搬送機械など、最先端の工業設備機械の部品や、自動車の生産ラインの設備機械にも多用されています。どんな製品を作るにも鋳物は不可欠です。みなさまの目にふれることは少ないですが、パソコンなどの電子機器をつくるためにも、必ず鋳物は使われています。



つの想いをあわせて、薪ストーブを作りました。

「薪」と「鋳」、それぞれの想いを結集し、開発しました。

私たちが目指す 森林再生サイクルとは？

健康な林に戻すためには、人の手による適正な管理、特に間伐などの手入れにより林内に光を入れてあげる必要があります。森林は、一本一本の木が健康に育ちあってこそ、豊かな緑の生態系を育むもの。このためには木を伐り利用することで、森林再生サイクルが可能になります。

はじめからエコ、ずっとエコなストーブ

もり
森守のストーブ

Lin りん 輪

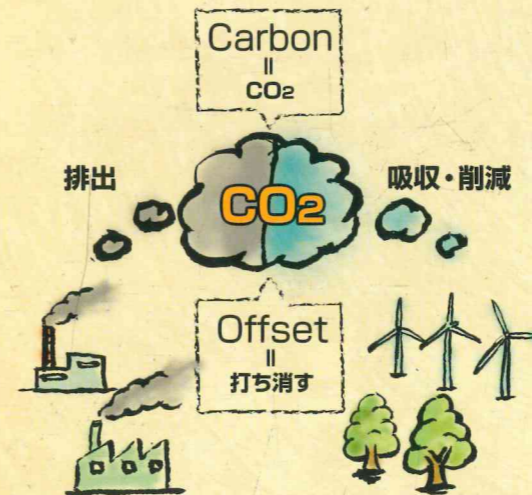


間伐材を大量にストックできる場所がないのが問題

薪の確保・各地森林組合と連携して、将来的には自社工場に薪をストックし、利用者に提供できる「エネルギー循環システム」を計画中です。

もり
森守のストーブ「Lin～輪～」は、
カーボンオフセットをした
薪ストーブです。

カーボンオフセットとは、個人や企業ではどうしても減らせない、地球温暖化の原因となるCO₂などの温室ガスを、クリーンエネルギー事業などを通じて埋め合わせをし、削減をする仕組みです。



私たちは、この商品を通じて地球温暖化防止を推進するプロジェクトを支援し、京都議定書で定められた日本の排出削減目標であるマイナス6%に貢献します。



※内部の薪と炎は、はめ込み合成です。

笑顔の「輪」ができる、薪ストーブです。



ずっと使えるので、自然にやさしい。

コンパクトなのに高性能。

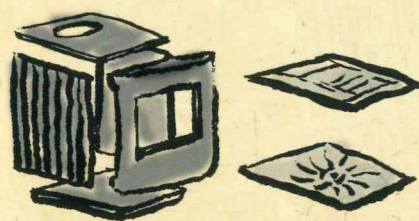
私たちが考える「薪ストーブ」へのものづくり。

日本に数ある鋳物業者の中でも、この薪ストーブに使われている材質を作っている会社はそんなにありません。ダクタイル鋳鉄は普通鋳鉄に比べ機械的性質に優れています。このダクタイル鋳鉄をベースに合金を添加し、薪ストーブの過酷な使用条件に耐えうる性能を引き出しました。



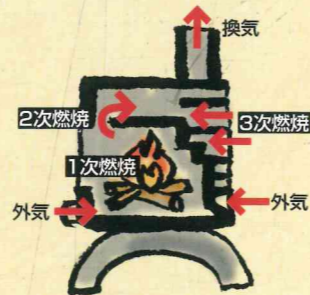
工業用に匹敵する材質を採用

燃焼すると高温になる「針葉樹」の薪が使えるよう、温度の上がる本体部品などに一般的な薪ストーブでは使わない独自のハイシリコンダクタイル合金鋳鉄を使用。耐熱性に優れ、膨張・収縮が少ないため長寿命です。

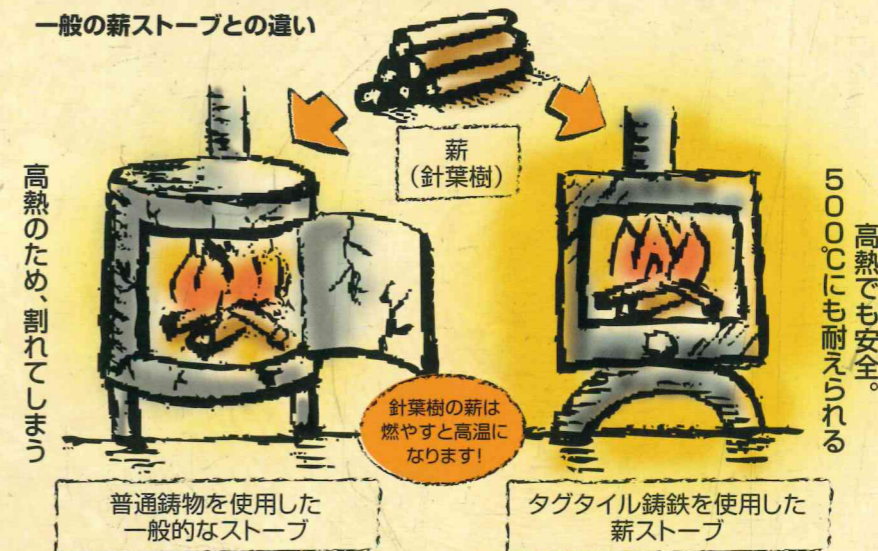


MADE IN JAPAN だからできます

部品を最小化して日本の住宅事情に合わせた大きさにしました。独自設計の2次・3次燃焼システムで薪の消費を抑えつつ、早く暖められる効率の良い構造になっています。



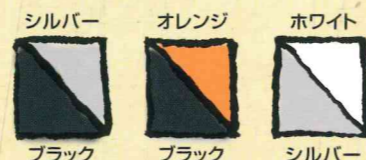
一般の薪ストーブとの違い



黒だけではありません。

好みのパーツを選べます

「薪ストーブは1色」というイメージをなくしました。カラーを選んでユーザーの好みに合わせた薪ストーブをつくることができます。



※実際の色とは異なります。

製作へのこだわり。

- ◎厳選された材料を使い、材質的に安定した、メイドインジャパンの鋳物を全て自社工場での設計・製作しました。
- ◎鋳物の技術者である「鋳人(弊社造語)」を育成することで、継続的に安定した鋳物を作ることが出来る企業を目指しています。
- ◎可能な限り部品を一体化し、部品点数を少なくすることで製造コストを抑え、経年変化による歪みも抑えることにもこだわりました。

炎のゆらぎによる心の安らぎ、ストーブに集まる家族との団楽、薪や炎に触れることで少しでも自然を感じる生活を楽しんでいただけることを願って製作しました。



株式会社 浅井鋳造所

〒491-0814 愛知県一宮市千秋町小山字東仲田12番地
TEL 0586-76-1060 FAX 0586-76-1042
URL www.asaichuzo.com
E-mail info@asaichuzo.com

■ 会社概要

商号 株式会社 浅井鋳造所
資本金 500万円
創業 昭和21年3月
社員数 12名<社員平均年齢33歳>(2010年5月)

